



中国語研修プログラム



県が企画した「中国語研修プログラム」に参加した生徒の感想を紹介します。

新原未優さん（3年生・舞鶴中学校出身）



私は鹿児島県が企画した「中国語研修プログラム」に参加し、10月21日～27日、県内の高校生10名と中国に行きました。私の将来の夢は航空関係で働くことで、そのために、外国語を学び、ホームステイをしたいと考え、参加しました。中国をこの目で見たいという思いが強くありました。



中国で印象に残ったことを書きます。①街を歩いている人は少なく、車・自転車・バイクで移動している人が多い。②身長が高い人が多い。

私は170センチで日本では背が高い方ですが、中国では私より高い人が多かったです。③料理は脂っこいものが多く、なるべくあっさりしたものを食べました。肉料理は唐辛子が辛く、白湯（パイタン）スープは鳥の風味が独特でした。日本料理が恋しかったです。④お店では店員と客が対等であること。日本のサービスのよさを実感しました。⑤万里の長城は地平線まで続いているようでスケールが大きい。男坂（きつい坂）・女坂（ゆるやかな坂）があって私は女坂を上りましたが、それでもはしごを上っているようでした。⑥天安門故宮で感動したこと。ちょうど日本の安倍総理が中国を訪問していて、日本国旗と中国国旗が一緒に立っていたのが、日本人として誇らしく思いました。⑦日本の世界遺産（金閣寺・五重塔）などはシンプルですが、中国の世界遺産（故宮など）は模様が複雑で、よりアートな感じがしました。⑧北京外国語大学付属中学校で中学生と交流しましたが、日本のことに大変興味を持っていて、特にアニメが人気でした。私たちは鹿児島のことを紹介し、私は「白熊」について話しました。文化交流が深まったと思います。



私は今回の研修を通して中国に親しみを持つことができました。未来志向で、国民どうして仲良く交流することが大切だと思います。私は、韓国・タイなどアジアに興味を持っていて、海外との交流をしたいと思っています。今回学んだことを生かして、語学の勉強を深め、日本とアジアとの架け橋になりたいです。



